

TICADV 人間の安全保障シンポジウム
岸田外務大臣閉会挨拶

本日は、素晴らしい内容のシンポジウムとなりました。パネリストの皆様、そして積極的に議論に参加いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。

本日は、保健という切り口から、具体的な議論が展開され、人間の安全保障が実践的な理念であるとの理解が深まったのではないかと期待します。

国連人間の安全保障基金は、複数の国連機関が協力して、人間の安全保障の実現に取り組むプロジェクトを支援しています。アフリカが直面する課題を個人の視点から見れば、保健・衛生、水、食糧、栄養、エネルギー、防災、貧困撲滅といった様々な課題が、相互に密接に関係していることがわかります。

そして何よりも、人間の安全保障は、人間に焦点を当てることにより、真に効果的な開発を可能にするものであると考えています。個人が脆弱な立場に置かれぬよう、紛争を回避し、ガバナンスを強化していくことが求められます。また、一人ひとりの能力強化を図り、能動的な社会づくり、国づくりへの参画を促すことは、アフリカの自律的な成長を力強く後押ししてくれるでしょう。

TICADV は、このような人間の安全保障に基づき、アフリカの更なる躍動に貢献することを目指しています。我々がこのシンポジウム、そしてTICADVを通じて発するメッセージは、国際社会に大きな刺激を与えるでしょう。TICADV の参加者と共に、国際的な連帯を構築し、人間の安全保障に基づく、効果的なポスト 2015 年開発目標の策定に取り組み、未来に対する責任を果たしていきたいと思えます。

本日は、ありがとうございました。